



11月24日（火）に開催された「第3回まちにぎWS」の様子をお伝えします。

～ 第3回WS概要 ～

開催日：平成27年11月24日（火）  
場所：行田市商工センター 403研修室  
時間：18：30～20：30  
参加人数：16名  
グループ数：5グループ

～ 第3回WSのプログラム ～

- 1.開会・あいさつ
- 2.概要説明
- 3.グループワーク・グループ発表
- 4.まとめ・閉会



～ WSの内容 ～

第3回WSでは「住民参画」をテーマに、地元住民や事業者に対し、どのようにしてまちづくり活動への参加を促すか、また「まち並み」をテーマに、これからの行田にふさわしいまち並み景観について、グループに分かれて意見交換（グループワーク）を行いました。

そのなかで、住民参画が進むと住民の意向がまちづくりへ反映されやすくなること、また良好なまち並みが整備されると、満足度のほか、住民にとっては快適性が、来訪者にとっては回遊性が向上されることを共有認識いたしました。

～ グループワークの結果 ～

グループワークでは、【まちづくり活動への参加を増やすには？】と【まち並みはどうあるべきか？】の2つのテーマについて、5つのグループに分かれてグループワークを行い、下記のとおり主な意見としてまとめました。

**テーマC** 【まちづくり活動への参加を増やすには？】

・A,Cグループ（合同で議論）

商店街で利用できる学割等をつくることで、商店街に学生など若者を呼び込み、まちの良さ・現状を知ってもらい、まちづくり活動参加へのきっかけづくりにする。また、市民に対しては行田ケーブルテレビを通してまちづくり活動を周知する。

・Bグループ

女性や若者のまちづくり活動への参加が少なく、イベントを開催しても地元住民が参加していないことから、にぎわいの創出を図るためには、より多くの市民が参加する必要がある。また、団体が各々で活動しているため同じようなイベントが重複しているため、各団体を1つにまとめるような組織づくりが必要である。

**テーマD** 【まち並みはどうあるべきか？】

・Dグループ

空き店舗の増加はまち並みや景観を損なうため、各店舗の経営者は空き店舗をつくらぬよう、顧客のニーズを的確に把握するよう努力する。

・Eグループ

病院や商店の利便性を高めたり、近代化遺産を活用するためにNPOや事業者が中心となり、まちづくりに関するNPOの設立や商店街を活発にする活動を行っていくことが重要である。

・Fグループ

地元が連携して花いっぱい運動などの活動に取り組み、憩いの場をつくるなど景観を良くすることで来訪者の満足度を上げる。また、空き家に若者を呼び込めるよう自治会で話し合い、活用の仕組みをつくり、空き家をなくす。

～ 次回ワークショップの予定 ～

報告会 平成28年2月20日（土） 18時～19時  
行田市商工センター 403研修室